作成日 ： 2026 年 8 月 3 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ：
製品名称 : CALCIUM_R1
製品番号 : 301102 （301355, 301350 CALCIUM /10Tests、/100Tests の構成品）
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 研究用試薬
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : キコーテック株式会社
住所 : 〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-4-17
担当部署 : 事業開発部
電話番号 : 072-730-6790
FAX : 072-730-6795

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
皮膚腐食性/刺激性 :区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) :区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) :区分 2(歯、呼吸器系)
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性) :区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素



注意喚起語:危険
危険有害性情報
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
臓器の障害のおそれ(呼吸器系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(歯、呼吸器系)
水生生物に毒性
注意書き
安全対策
環境への放出を避けること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋を着用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
応急措置

特別な処置が必要である。
ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。
医療処置を受けること。
気分が悪い時は、医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医療処置を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管

保管温度2～8℃
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
2-アミノ-2-メチルプロパノール	124-68-5	25.0-26.5	9-118
塩酸	7647-01-0	2.5	1-215

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

2-アミノ-2-メチルプロパノール , 塩酸

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

2-アミノ-2-メチルプロパノール , 塩酸

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
飲み込んだ場合:医療処置を受けること

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤: データなし

特有の危険有害性: 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告
特有の消火方法:
関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
消火水の下水への流入を防ぐ。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:
防火服又は防炎服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
(局所排気、全体換気)
空気中濃度をばく露限界以下に保つために、適切な全体換気または局所排気装置を使用すること。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護手袋を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避データなし
衛生対策
眼、皮膚、衣類につけないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
乾燥した場所に保管すること。
2～8℃で保管すること。
（避けるべき保管条件）
日光から遮断すること。
直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度及び濃度基準値
（2-アミノ-2-メチルプロパノール）
濃度基準値 TWA: 1ppm（令和8年10月1日施行）
職業ばく露限界値
日本産業衛生学会
（塩酸）
（最大許容濃度）2ppm; 3.0mg/m3
ACGIH
（塩酸）
Ceiling: 2ppm（上気道刺激）
設備対策
全体換気装置又は局所排気設備を設置した場所で取扱う。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
化学防護手袋 推奨材質：不浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼及び/又は顔面の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
化学防護服

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	:液体
色	:無色
臭い	:無臭

臭いの閾値	:データなし
融点/凝固点	:データなし
沸点又は初留点	:＞35℃
沸点範囲	:データなし
可燃性	:燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:適用外
引火点	: ＞60℃
自然発火点	:適用外
分解温度	:データなし
pH	:10.7
動粘性率	:データなし
溶解度:	
水に対する溶解度	:混和する
溶媒に対する溶解度	:データなし
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び/又は相対密度	:1.00
相対ガス密度(空気=1)	:データなし
粒子特性	:適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性 : データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性 : データなし

避けるべき条件

避けるべき条件 : 直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危険物質

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

刺激性のガスや蒸気

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(2-アミノ-2-メチルプロパノール)

ラット LD50: 2900 mg/kg

(塩酸)

ラット LD50: 238 - 277 mg/kg

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(塩酸)

ウサギ LD50: > 5010 mg/kg
急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
ガス: ラット LC50: 4.2 mg/L (60分間)(4時間換算: 1411 ppm)
エアロゾル: ラット LC50: 1.68 mg/L (1時間)(4時間換算: 0.42 mg/L)
[会社固有データ]
(塩酸)
ガスのデータに対して、本製品はGHSの定義では液体に該当するので「区分に該当しない」とした。
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分2,皮膚刺激
[成分データ]
(塩酸) 区分 1 成分合計が1%以上5%未満であるため、区分2に該当。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分2
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(2-アミノ-2-メチルプロパノール)
区分 1
(塩酸)
区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない
[成分データ]
データなし
皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[IARC]
(塩酸)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(塩酸)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]
データなし
[成分データ]
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分2 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1(歯、呼吸器系)
誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分2.水生生物に毒性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
魚類 (コイ) 96 時間 LC50 : 4.92 mg/L (pH: 4.3) (OECD TG 203)
甲殻類 (オオミジンコ) 48 時間 EC50 : 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 202)
藻類 (ラフィドセリス属) 72 時間 ErC50 : 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 201)
水溶解度
(2-アミノ-2-メチルプロパノール)
混和する (出典: ICSC, 2002)
(塩酸)
67 g/100 mL (30℃) (出典: ICSC, 2016)
残留性・分解性 :データなし
生体蓄積性
[成分データ]
(塩酸)
log Pow: 0.25 (出典: ICSC, 2016)
土壌中の移動性 :データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性 :データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当
環境有害性物質/混合物 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。
転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 :該当しない。
労働安全衛生法 :特化則 特定化学物質 第3類
・塩化水素 別表第3第3号3
:有機則に該当しない
:名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
・塩化水素 規則別表第2の309
・2-アミノ-2-メチルプロパノール(規則別表第2の110);
皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
・2-アミノ-2-メチルプロパノール
化学物質管理促進(PRTR)法:該当しない
労働基準法 : 疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)
・塩酸

消防法　　:該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質:該当しない。
大気汚染防止法　　: ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号
・塩素及び塩化水素 (政令第1条第2号)
: 特定物質
政令第10条第1号から第28号
・塩酸(政令第10条第9号)
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。
水質汚濁防止法　　:指定物質
塩酸(法令番号5)
海洋汚染防止法　　:有害液体物質 Z 類:塩化水素

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) (令和6年度 (2024年度) 公表分まで))です。

KIKO・TECH

作成日 ： 2026 年 8 月 3 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ：
製品名称 : CALCIUM_R2
製品番号 : 300696 （301355, 301350 CALCIUM Wine /10Tests、/100Tests の構成品）
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 研究用試薬
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : キコーテック株式会社
住所 : 〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-4-17
担当部署 : 事業開発部
電話番号 : 072-730-6790
FAX : 072-730-6795

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
皮膚腐食性/刺激性 :区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

生殖毒性 :区分1B
呼吸器感作性 :区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) :区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) :区分 2(歯、呼吸器系)
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性) :区分 3
水生環境有害性 短期(慢性) :区分 3
(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素



注意喚起語:危険
危険有害性情報
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ(呼吸器系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(歯、呼吸器系)
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き
安全対策
使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
環境への放出を避けること。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。
ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。
すぐに救急の医療処置を受けること。
医療処置を受けること。
ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
気分が悪い時は、医療処置を受けること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

保管温度2～8℃
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
塩酸	7647-01-0	1.5	1-215
8－ヒドロキシキノリン	148-24-3	0.30-0.36	5-804

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分
塩酸、8－ヒドロキシキノリン

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分
塩酸、8－ヒドロキシキノリン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置
医学的な助言が必要なときには、このSDS、製品容器やラベルを持っていくこと。

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
呼吸困難のときは酸素吸入を行う。
気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合　:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合 :医療処置を受けること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医療処置を受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪いときは医療機関に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項
救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤 : 火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること
この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤 : データなし
特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者への勧告
特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
消火水の下水への流入を防ぐ。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:
防火服又は防炎服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
(局所排気、全体換気)
空気中濃度をばく露限界以下に保つために、適切な全体換気または局所排気装置を使用すること。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項 ： 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避 ： データなし
衛生対策 ： 眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管
安全な保管条件 ： 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。
保存温度 2℃～8℃

安全な容器包装材料 ： 他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会
(塩酸)
(最大許容濃度) 2ppm; 3.0mg/m3
ACGIH
(塩酸)
Ceiling: 2ppm (上気道刺激)

ばく露防止
設備対策
全体換気装置又は局所排気設備を設置した場所で取扱う。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
化学防護手袋 推奨材質:不浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	:液体
色	:薄黄色
臭い	:特異臭
臭いの閾値	:データなし
融点/凝固点	:データなし
沸点又は初留点	:データなし
沸点範囲	:データなし
可燃性	:燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:適用外
引火点	: ＞60℃
自然発火点	:適用外
分解温度	:データなし

pH	:1.5
動粘性率	:データなし
溶解度:	
水に対する溶解度	:混和する
溶媒に対する溶解度	:データなし
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び/又は相対密度	:1.00
相対ガス密度(空気=1)	:データなし
粒子特性	:適用外

10. 安定性及び反応性

反応性
　反応性　：データなし
化学的安定性　：通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
　危険有害反応可能性　：データなし
避けるべき条件
　避けるべき条件　：直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)
混触危険物質
　混触危険物質　：塩基
危険有害な分解生成物
　危険有害な分解生成物　：熱分解により以下の物質を生成する。
　刺激性のガスや蒸気

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
　急性毒性(経口)
　[製品]
　(塩酸)、(8－ヒドロキシキノリン)とも当該濃度では区分に該当しない 。
　[成分データ]
　[NITE-CHRIP]
　(塩酸) ラット LD50: 238 - 277 mg/kg、(8－ヒドロキシキノリン)LD50:1200 mg/kg
　急性毒性(経皮)
　[製品]
　データ不足のため、分類できない。
　[成分データ]
　[NITE-CHRIP]
　(塩酸) ウサギ LD50: > 5010 mg/kg、 (8－ヒドロキシキノリン) マウス 200-300 mg/kg
　急性毒性(吸入)
　[製品]
　データ不足のため、分類できない。

[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
ガス : ラット LC50: 4.2 mg/L (60分間) (4時間換算: 1411 ppm)
エアロゾル : ラット LC50: 1.68 mg/L (1時間) (4時間換算: 0.42 mg/L)
[会社固有データ]
(塩酸)
ガスのデータに対して、本製品はGHSの定義では液体に該当するので「区分に該当しない」とした。

皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
[製品データ]
[pHに基づく分類根拠]
pH <= 2 であることから、皮膚腐食性/刺激性:区分1に分類した。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分1. 重篤な眼の損傷
[製品データ]
[pHに基づく分類根拠]
pH <= 2 であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分1に分類した。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1
(8-ヒドロキシキノリン)
区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない
[成分データ]
データなし

皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(8-ヒドロキシキノリン)
区分 1

生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし

発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]

[IARC]
(塩酸)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(8-ヒドロキシキノリン)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(塩酸)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性
[製品]:
区分1B 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(８－ヒドロキシキノリン)
区分1B

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分2(歯、呼吸器系)長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1 (歯、呼吸器系)

誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 3, 水生生物に有害
区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害
[成分データ]
水生環境有害性短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
魚類 (コイ) 96時間 LC50: 4.92 mg/L (pH: 4.3) (OECD TG 203)
甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 202)
藻類 (ラフィドセリス属) 72時間 ErC50: 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 201)
(8-ヒドロキシキノリン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間 EC50: 0.52 mg/L

水生環境有害性長期（慢性） :区分に該当しない

残留性・分解性 :データなし
[成分データ]
(8-ヒドロキシキノリン)
急速分解性なし (分解度: 0% (by BOD)) (出典: NITE

生体蓄積性 :データなし
[成分データ]
(塩酸)
log Pow: 0.25 (出典: ICSC, 2016)
土壌中の移動性 :データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性 :データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号またはID番号 : UN3264
正式輸送名 : その他の腐食性液体、酸性、無機物、N.O.S.(塩酸)
分類または区分 : 8
容器等級 : Ⅲ
特別規定番号 : 223; 274
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : UN3264
正式輸送名 : その他の腐食性液体、酸性、無機物、N.O.S.(塩酸)
分類または区分 : 8
容器等級 : Ⅲ
特別規定番号 : 223; 274
IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : UN3264
正式輸送名 : その他の腐食性液体、酸性、無機物、N.O.S.(塩酸)
分類または区分 : 8
危険性ラベル : Corrosive
容器等級 : Ⅲ
特別規定番号 : A3; A803
環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当） : 非該当
環境有害性物質/混合物（該当/非該当） : 非該当
特別の安全対策
直射日光、雨にばく露されないように運搬する。
転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
本品はバルク輸送されない。
国内規制
国の特定の法規制は、項目15を参照する。
緊急時応急措置指針番号: 154

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 :該当しない。
労働安全衛生法 :特化則 特定化学物質 第3類
・塩化水素 別表第3第3号3
:有機則 該当しない
:名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
・塩化水素 規則別表第2の309 令和7年4月1日施行
・(別名８－キノリノール) 規則別表第2の1627 令和7年4月1日施行
皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質
:特化則等
・塩化水素
変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達)
・８－ヒドロキシキノリン
化学物質管理促進(PRTR)法 :該当しない。
労働基準法 :疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)
・塩酸
消防法 :該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質:該当しない。
大気汚染防止法 : ばい煙
有害物質 政令第1条第1号から第5号
・塩素及び塩化水素 (政令第１条第2号)
: 特定物質
政令第10条第1号から第28号
・塩酸(政令第10条第9号)
船舶安全法 : 腐食性物質 分類8
航空法 : 腐食性物質 分類8
水質汚濁防止法 :指定物質
・政令第3条の3第5号 塩化水素
海洋汚染防止法 :有害液体物質 Z 類:塩化水素

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019

許容濃度等の勧告（2024年度）（日本産業衛生学会）
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)（令和6年度（2024年度）公表分までです。